



Title	詞林 第78号 表紙/目次
Author(s)	
Citation	詞林. 2025, 78
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/103447">https://hdl.handle.net/11094/103447</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 詞林

SHIRIN VOL.78 (2025年10月)

第七十八号

平安朝漢詩における「蚕」語群の詠法  
——「織」「怨」との組合せに着目して—— 小山 愛桂 (1)

日本古典文学における「死」の婉曲表現の形成  
——万葉集、古今和歌集、源氏物語を中心にして—— トカチエシコ テチャーナ (17)

国宝 称名寺聖教『西域記伝抄』翻刻と解題(2)  
……蒲 嫉艶 (37)

『肖柏友弘等恋百韻』解題と翻刻  
……浅井 美峰 (66)

第七十六号目次（1101一四年十月）

第七十七号目次（1101一五年四月）

花や紅葉はなぜ散るか

——『万葉集』から『古今和歌集』にかけて——

川井 麻美

<https://doi.org/10.18910/98179>

延喜御集校訂四題

滝川 幸司

<https://doi.org/10.18910/100771>

『古今集』「色もえなまし」の歌について ..... 安 伯潔

——貫之の歌の表現形成を中心にして——

中原 香苗

金剛寺の法会と音楽—所蔵楽譜をめぐらべ— ..... 中原 香苗

<https://doi.org/10.18910/100772>

『今業平昔面影』五編における鯉の利用

——『八犬伝』ブームと笠亭仙果の著作活動に注目して—— .. 樋口 純子

国宝 称名寺聖教『西域記伝抄』翻刻と解題(1) ..... 蒲 姫艶

<https://doi.org/10.18910/100773>